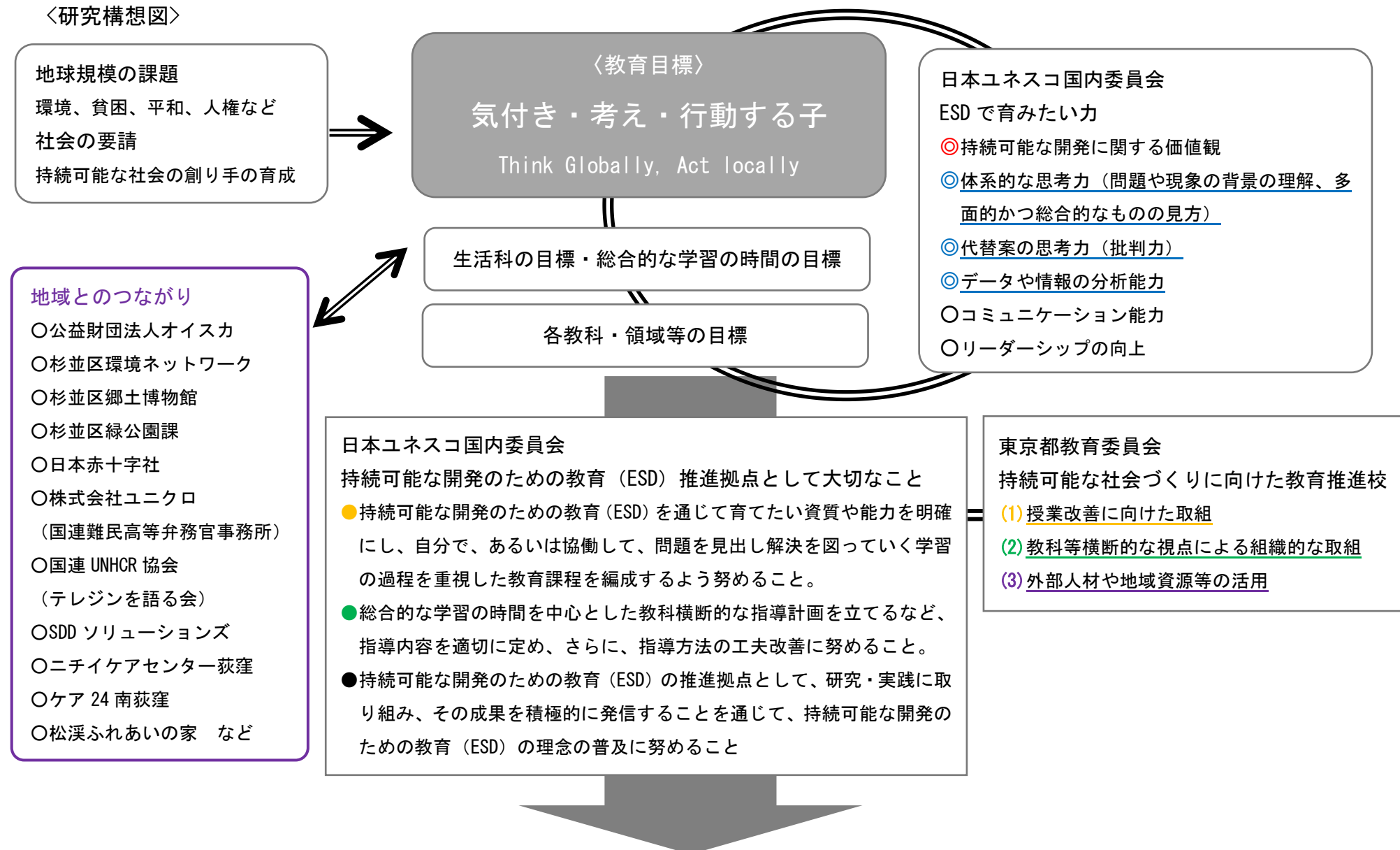


平成 30 年度 校内研究 全体計画

I 研究主題 自ら気づき・考え・行動する子の育成 ～教科等横断的な学習過程を通して～

〈研究構想図〉



研究主題 自ら気づき・考え・行動する子の育成 ～教科等横断的な学習過程を通して～

〈目指す児童像〉 人・自然・社会とのかかわりを大切にし、気づき・考え・行動する子

	気付く	考える	行動する
低学年	○自分と身近な人々、身の回りの事象とのかかわりに関心をもつ子	○自分と身近な人々、社会及び自然が自分自身にとってもつ意味に気づき、自覚できる子	○対象と自分とのかかわりを深めることができる子
中学年	○社会及び自然に興味関心をもち、課題に気付く子	○多様な情報を取捨選択したり、分類・整理したりして、情報を再構成できる子	○自らの願いの実現を目指して行動できる子
高学年	○持続可能な社会の創造という視点で社会状況を捉え、課題に気付く子	○目的に応じて、多様な情報を分類・整理し、多面的・総合的に分析できる子	○社会における自分の役割を理解し、目的を明確にして行動できる子

研究の視点

- ①ESD カレンダーの作成を通じたカリキュラム・マネジメント
- ②SDG s の視点を生かした単元開発
- ③学習の深まりの検証

研究の内容

- ①- i ESD カレンダーの見直し
- ①- ii 他教科等と関連付けた授業
- ②- i 外部人材や地域資源等の活用
- ②- ii 学習過程の工夫
- ③- i 評価規準の作成と手立て
- ③- ii 児童の変容の見取り方
- ③- iii リーブリックを使った児童の自己評価

II 研究の視点

- ①ESD カレンダーの作成を通したカリキュラム・マネジメント
- ・今年度は、より教科等横断的な学習過程を意識し、総合的な学習の時間や生活科の学習を他教科と関連づけて行うことで、双方のよりよい学びが実現するようにしていく。

例) 5年生 総合「世界を見直して環境を考えよう」

国語「次への一步 ― 活動報告書」: 環境問題について調べたことを報告する文章を書く。

総合: 報告書を読み合い、環境問題同士の関連を考え、環境問題を体系的に捉える。

国語「グラフや表を用いて書こう」: 世界の環境がよくなっているかどうか、環境に対する対策を十分に行っているかどうかについて、グラフや表を用いて、理由付けを明確にして文章を書く。

算数「円グラフと帯グラフ」: 環境改善の取り組みを行うにあたり、実態を把握するために、データを収集し、分類・整理し、目的に応じて、観点を決めてグラフや表に表し、データの特徴や傾向をつかむ。また、行動の成果についても、同様にしてつかむ。

総合: 環境改善のために、どんな行動をするか、実態をもとに考え、行動する。また、行動の成果について、データをもとにして振り返る。

図工「伝えたい思いや気持ち」: 環境問題について、伝えたい思いや気持ちをポスターに描く。

総合: 環境改善のために、自分たちが考えたことを発信する。

国語「分かりやすく伝える」: 相手に応じたことがを選んで使う。

総合: ESD 子供報告会や呼びかけ、アンケートなどをする際に、学年に応じた言葉を使って、発信する。

- ②SDG s の視点の生かした単元開発
- ・持続可能な開発に関する価値観を学年ごとに身に付けられるよう、SDG s の視点を意識した単元開発を行う。



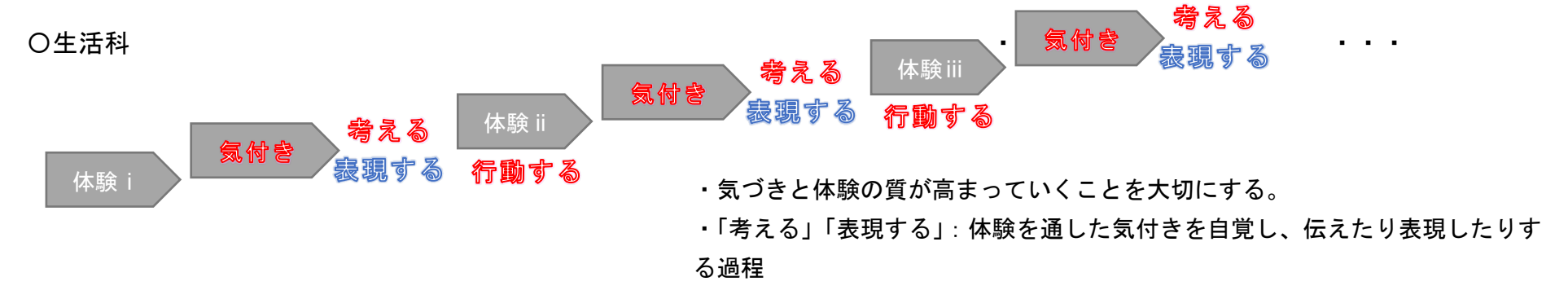
- ③学習の深まりの検証
- ・学習過程ごとに身に付けさせたい力とその評価規準を明確にし、授業における手立てにつなげる。
 - ・学びの履歴を丁寧に追い、児童の変容を見取り、授業構成、方向性に生かす。
 - ・児童自身が自分の活動の自己評価し、次の活動につなげられるようにする。

III 研究の内容

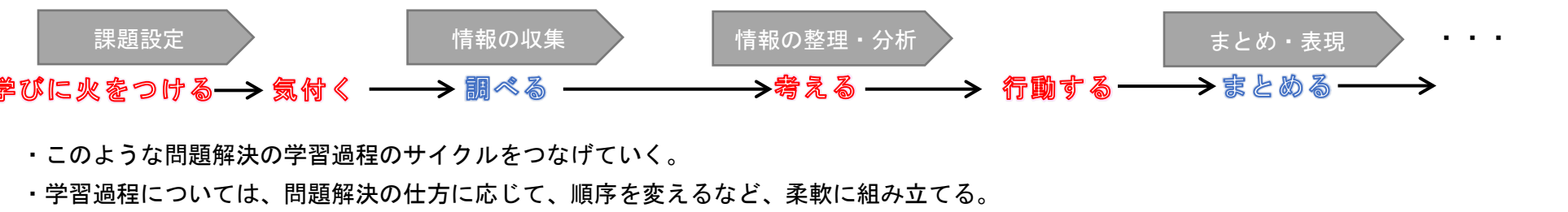
- ①- i ESD カレンダーの見直し
- ・年度初めに、昨年度の学年と合同で今年度の ESD カレンダーを作成し、これまでの成果と課題を生かし、作成する。
 - ・年度中も、必要に応じて修正していく。
 - ・年度終わりに、1 年間の学習を振り返り、ESD カレンダー修正版を作成する。
- ①- ii 他教科等と関連付けた授業
- ・総合的な学習の時間や生活科の学習、行事等と関連付けた授業を実践していく。

- ②- i 外部人材や地域資源等の活用
- ・昨年度の成果と課題を基に、テーマのとらえ、単元の流れの改善を行う。その際、児童の主体的な学びにつなげるため、外部人材や地域資源等を生かす。
 - ・協力者リストを作成し、ユネスコスクールとして、今後も地域とつながりのある教育活動を行えるようにする。

②- ii 学習過程の工夫



○総合的な学習の時間



- ③- i 評価規準の作成と手立て
- ・育みたい力を明確にし、評価規準を達成するための手立てを講じる。評価規準については、次の観点で立てていく。また、手立ての効果を検証する。

・生活

体験する	自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに興味・関心をもつ力	課題設定	身の回りの事象に興味・関心をもつ力
	自分にとって、興味・関心があり、価値があると感じられる学習活動を自ら進んで行う力		課題を見付ける力
気付く	自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわる中で、自分自身や自分の生活について新たな気づきをする力	情報の収集	課題解決のための計画を立てる力
	自分の思いや考えなどを適切な方法で表現する力		目的に応じて情報を収集する力
考える工夫する	自らよりよい生活を創り出す力	情報の整理	情報を整理する力
	現在及び将来における自分自身の在り方に夢や希望をもち、前向きに生活する力		調べたことをもとに考える力
		情報の分析	課題を解決するための方法を考える力
			課題解決のために行動する力
		行動	行動を振り返り、成果や課題を見出す力
			課題解決の仕方を振り返る力

・総合的な学習の時間

- ③- ii 児童の変容の見取り方
- ・ワークシートや活動、思考ツールなどを活用し、児童の変容を見取れるようにする。

- ③- iii リーブリックを使った児童の自己評価
- ・学習過程ごとに、児童が自己評価するための項目を整理する。
 - ・自己評価をしたことでどんな力が伸びたかを検証する。

IV 年間予定

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	研究発表会準備・リハールサル	11月	12月	1月	2月	3月
1年		研究授業・研究発表 内容決め			検証授業	研究発表授業準備					研究発表			
		ESDカレンダー作成			紀要① (授業のまとめ)		プレゼン作成				ESD子供報告会準備			
2年		研究授業・研究発表 内容決め	他教科			研究発表授業準備		研究発表授業準備			研究発表			
		ESDカレンダー作成					プレゼン作成				ESD子供報告会準備			
							紀要② (授業のまとめ)							
3年		研究授業・研究発表 内容決め				研究発表授業準備	検証授業	研究発表授業準備			研究発表			
		ESDカレンダー作成					紀要② (授業のまとめ)				ESD子供報告会準備			
		総合の単元計画を 立てる					プレゼン作成							
4年		研究授業 内容決め	他教科			研究発表授業準備		研究発表授業準備			研究発表			
		ESDカレンダー作成			紀要① (ESDカレンダー)		プレゼン作成					まとめ授業		
		総合の単元計画を 立てる									ESD子供報告会準備			
5年		研究授業・研究発表 内容決め		検証授業	紀要① (授業のまとめ)	研究発表授業準備					研究発表			
		ESDカレンダー作成					プレゼン作成				ESD子供報告会準備			
		総合の単元計画を 立てる												
6年		研究授業・研究発表 内容決め	検証授業		紀要① (授業のまとめ)	研究発表授業準備					研究発表			
		ESDカレンダー作成					プレゼン作成				ESD子供報告会準備			
		総合の単元計画を 立てる												
専科		研究授業・研究発表 内容決め	他教科			研究発表授業準備		研究発表授業準備			研究発表			
		ESDカレンダー作成 (各学年と連携)					紀要② (授業のまとめ)				ESD子供報告会準備			
							プレゼン作成							
研究推進部	校内研究	研究全体計画 (研究構想)	研究主題の捉え 研究の視点・内容作成								研究発表		研究のまとめ	
	研究発表				研究発表会計画	プレゼン計画	プレゼン作成	プレゼン締切 指導案締切			研究発表会まとめ			
	研究紀要	プロット作成			紀要①締切		紀要②締切							
	報告会					ESD子供報告会 計画					ESD子供報告会準備			
	学校評価									学校評価				